

小田原市の脱炭素に係る取組

小田原市環境部ゼロカーボン推進課

2023年7月11日 当日資料
かながわSDGsパートナー（毎月）ミーティング

1. 小田原市における脱炭素社会を見据えた地域好循環の創出に関するこれまでの取組

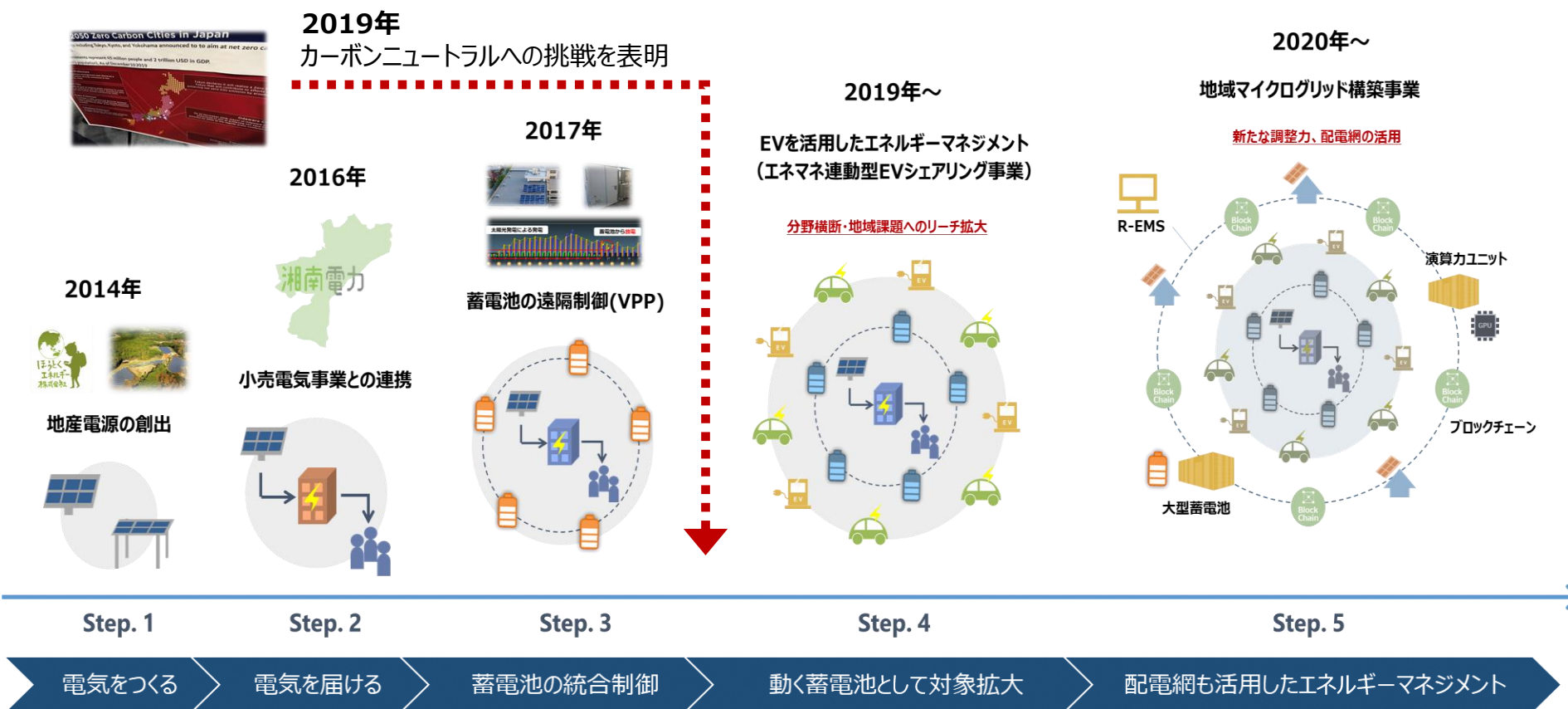
- 脱炭素・エネルギー投資を呼び込み、地域好循環を最大化させるため、これまで国内外の潮流を踏まえた取組を段階的に発展。
- FIT+市民ファンドの活用、地域新電力との連携、蓄電池、EVや配電網等地域リソースのマルチユースによる好循環の創出・拡大を一貫して企図。

地産電力の好循環

地域資源のマルチユース

配電網へのアクセス

2021年～



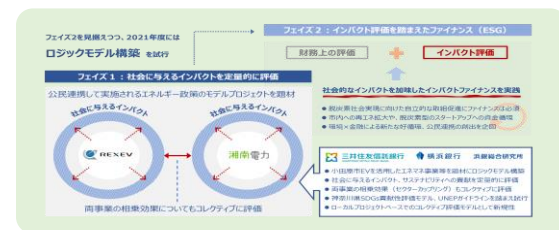
新たな市場運用を前提とした産業用蓄電池の地域活用



環境価値を活用した地域好循環創出・行動変容



金融機関と連携した地域再エネ事業のインパクト評価



地域の再生可能エネルギーを無駄なく活用する仕組みの構築に向け、段階的にプレイヤーを拡大しながら、好循環創出の取組を推進。

2. 脱炭素先行地域の取組

- 配電網レベルでの新たなエリアエネルギーマネジメントを背景に、先行する脱炭素投資が地域全体の脱炭素移行を牽引する相乗効果モデルを構築。
- 脱炭素社会へのいち早い適合を、小田原の玄関口たる中心市街地の魅力向上・活性化への好機と捉え、継続的な好循環を創出していく。

New

新たなエリアエネルギーマネジメントプラットフォーム

地域大で再生可能エネルギーを最適活用（無駄なく地産地消）

- ① “地産”再生可能エネルギーの潜在価値の最大限発揮・地方創生
- ② 脱炭素移行の先行投資とともに、地域活性化の好循環創出

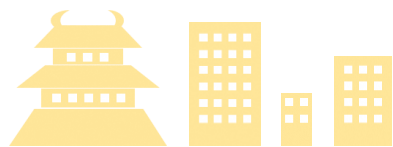
地域のグリーンシフト

- ① 徹底した省エネルギー化
- ② 再エネ調達（排出ゼロ）
- ③ EVを活用した脱炭素型サービスの実装

- ・ 脱炭素移行に資する投資を促進、エリアの価値向上へ
- ・ 脱炭素適合ビジネスの拡大と新たな脱炭素投資の呼び込みの継続的な好循環を創出



小田原城 + 中心市街地エリア



再エネメリットを活用した経済循環

省エネ診断、省エネ改修

観光用EV充電器の導入

経路充電と充電時間を利用した誘客

地域交通の脱炭素化

シェアリングEVの導入拡大

市内全域から
再エネ活用

重点対策加速化事業



大規模新築エリア



積極的な脱炭素投資

地産再エネの活用、ZEB化

行動変容の促進

EV充放電設備等を活用した行動変容

住宅等からの余剰再エネの供給

再エネ余剰をエリアエネマネPFを通じて供給

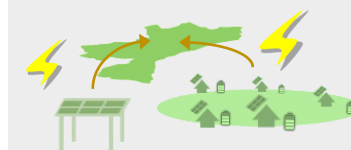
調整力の活用

EVや蓄電池等をエネルギーマネジメントに活用

“追加性”ある脱炭素投資

- ① あらゆる脱炭素技術の活用
- ② 地産再エネの積極調達
- ③ オフサイトPPAを駆使し地域へのリソース導入を牽引

- ・ 脱炭素先行投資が、地域の脱炭素化も牽引（新たな地域貢献の選択肢の提示）
- ・ エリアエネルギーマネジメントプラットフォームを介した好循環



金融機関

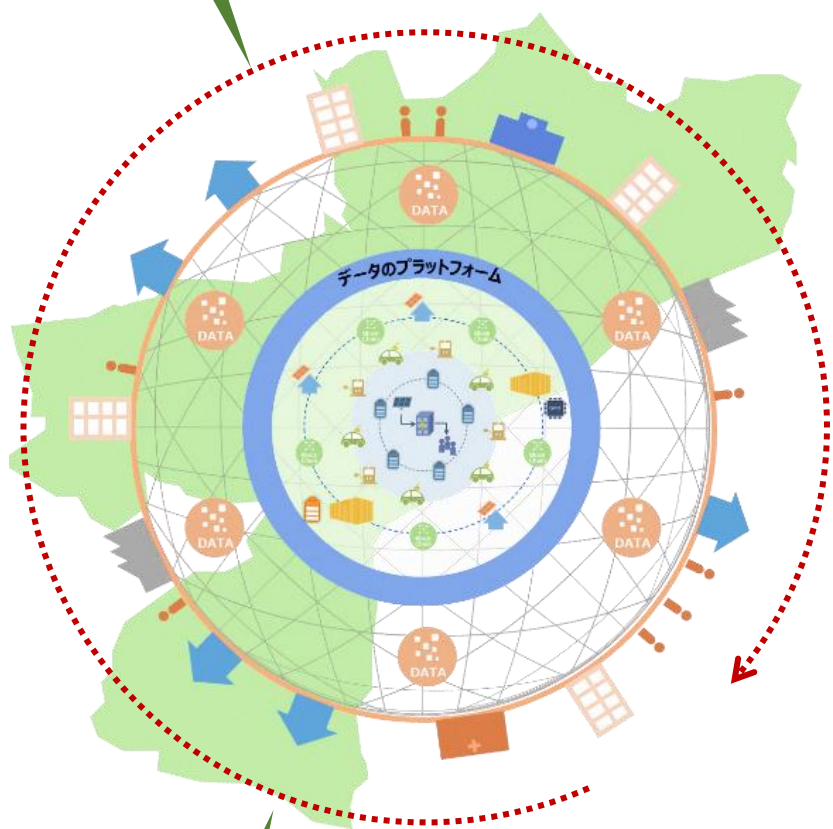
地域の脱炭素移行を支えるファイナンスとインパクト

地域企業の脱炭素適合によるサステナビリティ、企業価値向上を評価
地域エネルギーリソース導入へのファイナンス

3. 脱炭素を起点とした地域での好循環の創出に向けて

- 脱炭素を切り口とした地域好循環のベースは、大きく3点。①地産再エネの商品価値を最大化すること、②電気・熱を問わず、徹底した省エネ化に交付金をあて、脱炭素投資余力を生み出すこと、③地域再エネを拡大し、これを束ねる地域事業者等が取り組みやすい環境整備を行うこと。

脱炭素投資の呼び込み



脱炭素を起点とした好循環の創出

